

いの流水俳壇

「当季雑詠」

友章 水月選

歩道橋行く子も今日で卒業す

大川 節弥

(評)作者の家の近くにある歩道橋を渡って行く子どもがいる。あゝ今日は近くの小学校の卒業式であったなあ。今歩道橋を渡って行く子は、今日卒業した子に違いない、きつとそうだろう。通学である子はもう渡することもないだろうと見送っている作者である。卒業の季語は喜びと淋しさを感じさせる。

校塔に鳩多き日や卒業す

中村草田男

新しき花壇に運ぶ春の土

田蔦恵美子

(評)作者は花が好きである。温かくなってきたので、いろいろの花を植えようと新しい花壇に春の土を運んでいるのである。どんな花を植えるのであろうか。自分で丹精こめて育てた花は美しく心を癒してくれるものである。

いそいそと土を運んでいる姿が見えるようである。私も花が好きで、庭や鉢植えで楽しんでる。今は君子蘭、ピオラ、ゼラニウムが満開である。

子が植えて水やり過ぎのクロッカス

稲畑 汀子

持病薬飲むも日課や水温む

竹崎 光子

(評)中高年になるといろいろな病気がでてくる。元気なようでも病気の予防や治

療のため薬を飲んでる。作者も毎日の炊事、洗濯と同じように薬を飲むのも日課の一つとなっている。春になったが薬を飲みながらも精一杯生きようと思っているのがある。

最近薬の飲み忘れがないように、錠剤、粉薬を一袋にまとめ朝食後、昼食後、夕食後などと記入してくれている。かく言う私も薬の服用は日課の一つである。

「水温む」は春の季語で暖かい日射しとなつて水が温かくなり水面も明るく感じる。鎌を研ぐ母ふるさとにあり水温む

北 光星

蝌蚪の国動かしておりぬ棒の先

小野川町子

(評)水溜まりや田の溝に産卵された蛙の卵が孵化して小さな尻尾を振って泳いでいる。その群れの中を棒の先で突つた。不意のことにおたまじゃくしは驚いて散ってしまった。棒の先で蝌蚪の国に動乱を起こしたと言っているのである。

自然一杯の中で育つた幸を感じる句であり、国を動かしたと言うユーモアのある表現である。

蝌蚪の蝌も蚪も杓の形をした生物の意味で蛙の幼生のお玉杓子を言う。

川の底に蝌蚪の大国ありにけり

村上 鬼城

積木減り春風抜ける薪小屋

岡村 嘉夫

時計まで遅れていたよ春の朝

間 浩太

花びらの筏となるまで待つており

片岡 包女

落の曇三礼所へ杖をつく

竹崎たかひろ

黄水仙咲いて日当る礼所仏

白木蓮の祈る形に仏抱く

血圧は正常値なり風光る

伊藤 萩甫

仁淀川春がどこかに来ておりぬ

川村 博子

初音聞く一人歩きの歩を止めて

津田 久美

紫のすでに風呼ぶ花大根

森岡 照月

手造りのカップの重き春の雷

大川 節弥

春寒し呼出し音の鳴るばかり

田蔦恵美子

春寒し鼻唄まじり足まかせ

小野川町子

啓蟄や心も体もとびはねり

竹崎 光子

古離由緒語りて店飾る

友草 水月

落島みな土と化し静かなり

水月

啓蟄や我も目覚めて動き出し

松尾 芭蕉

山椿紅ほつほと人逝きし

野

溪川の音の中なる猫柳

光星

春寒や蔵の白壁陽を返す

水月

よく見れば薺花咲く垣根かな

松尾 芭蕉

よく見ると垣根に薺の花が咲いている

松尾 芭蕉

となんでもないような庭先の景色である。

松尾 芭蕉

芭蕉という「わび」「さび」と旅から旅に生きた俳人というイメージがある。野ざらし紀行の旅を終え、次の鹿島紀行に出るまで約2年江戸での生活をしたころの作品と言われる。

松尾 芭蕉

薺は春の七草の一つでペンペン草とも言われ種が三味線の撥の形をしていて、白く小さな地味な花を早春に咲かせる。

松尾 芭蕉

芭蕉は落ち着いた日常生活の中で、ふと垣根に咲いている薺の小さな花を見つけた。芭蕉の穏やかな温かい眼差しを感じさせる句である。

松尾 芭蕉

平成25年度

こども川柳年間優秀作品

■最優秀

しんごうで 青になつても 右左

川内小4年 西内 琴音

(評)信号が青になつても右と左を確かめて渡る4年生。日ごろから先生、お父さんお母さんの言われることを素直に聞く良い子。今の気持ちを大切に育つてほしいです。

■優秀

あやまるど ぼくの心は 花ばたけ

伊野小5年 井上 英人

(評)ごめんなさいが素直に言えることはとても大切。素直な子ども心がうれしくなる。ごめんなさいと言った後の気持ちを花ばたけとよんでいる井上君がまわりの人を嬉しくさせてくれる。ありがとう。へるめつと ぼくの心は 花ばたけ

川内小1年 千田 美海

(評)交通量の激しい時代、通学通園時、防災に外すことはできないヘルメットである。生活の中での大切なお友達である。毎日の暮らしの中で、思ったことを感じたままに川柳が素敵ですね。

■入選

ポイすては あなたの心 よこしてる

伊野小3年 塩田ふうか

春が来た さくらちつても 春は春

長沢小3年 山崎 光樹

つらいこと たのしいことに かえようよ

川内小3年 宮脇 大耀

あいさつは 人の心を いやします

川内小3年 古谷ねいろ

かみさまは いつもみんなを よくみてる

川内小2年 さかもとこころ

カレンダー どうぞどうぞ ながって来た

川内小4年 筒井 咲希

友だちと けんかしたつて 友だちだ

伊野小4年 さわ村ゆきの

太陽が きらきらしてらす 暑い夏

長沢小4年 川村みずほ

あいさつで 心も町も ピッカピカ

川内小3年 松岡 りん

※「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。26年度初回提出締め切りは5月12日(月)です。たくさんの方の応募をお待ちしています。応募は小学校を通じてお願いします。

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。